

輸配送時のもったいない待ち時間削減のための 「入荷受付システム」の導入

2017年3月1日

食^{マーケティング}
の_{カンパニー}

国分グループ本社株式会社

<「入荷受付システム」設置センター>



- ・2012年10月：藤沢流通センターに「入荷受付システム」初設置
- ・2017年2月現在：首都圏エリアを中心に6拠点設置

<導入目的>

- 大規模拠点や複数入荷区分におけるメーカー様の入荷受付効率化を推進。
- メーカー様の配送車両を有効稼働させるため、状況照会により見える化を推進。
- メーカー様別の実績を数値データにて把握し、課題点や改善点を共有・対策検討。

① 拠点別・温度帯別の入荷車両誘導のシステム化

⇒ 車両誘導をシステム化し、入荷受付事務所にドライバーが来る前に指定バース接車が実現！

② 入荷受付状況の参照と待機時間の有効活用

⇒ 入荷受付状況を参照し、入荷待機、もしくは、他の配送を先行するなどの判断が可能！

③ 入荷車両のデータ化

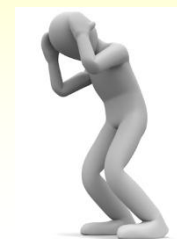
⇒ 各メーカー様の入荷時間をデータ化し、入荷時間改善の切り口として活用。運用全体最適化を実現！

<導入目的:入荷車両誘導のシステム化①>

①入荷車両誘導のシステム化による効果

従来の運用課題

- ①従来運用は入荷ドライバーが入荷受付事務所の入荷受付簿に記入していたため
車両を待機させる状況となった。
 - ⇒ 入荷受付簿に記入する際の停車・待機時間のムダが発生。
 - ⇒ アナログの入荷受付簿であるため、リアルタイムな入荷受付状況がわからなかった。
- ②メーカー様の入荷ドライバーが呼び出されるまでの時間を待機することが常態化。
 - ⇒ リアルタイムに状況把握ができないため、待機しなければならなかった。



入荷車両誘導のシステム化によるメリット

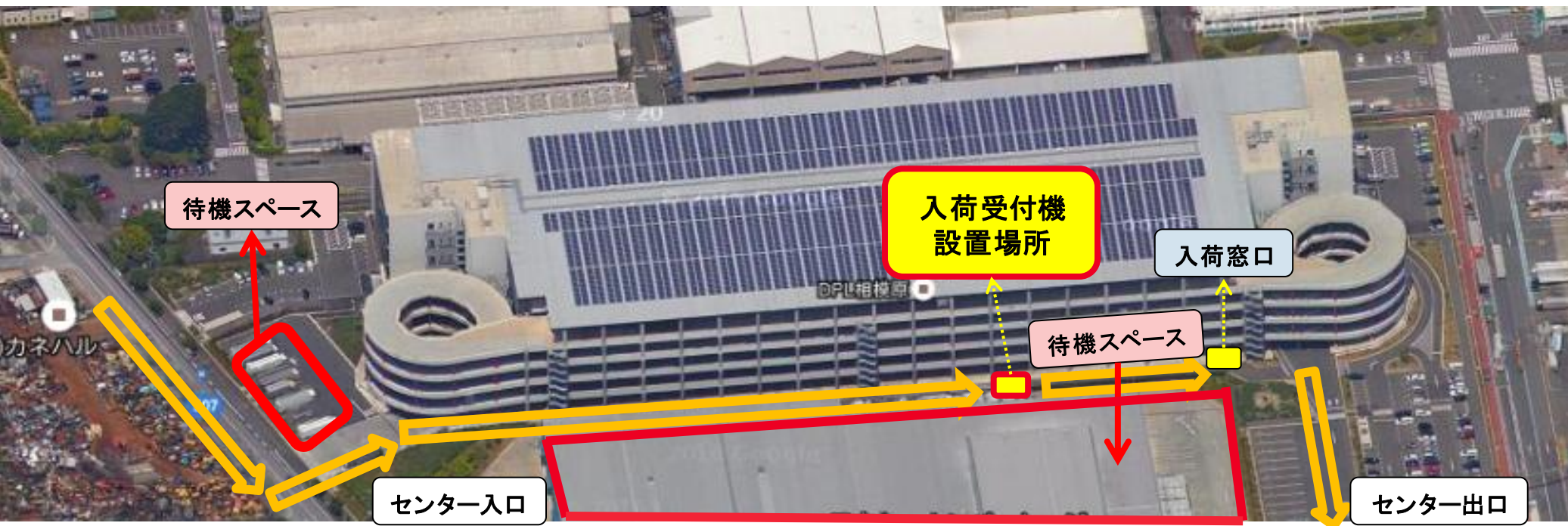
- ①「入荷受付システム」を使用し、入荷受付事務所に立ち寄る前に接車バースの誘導が可能。
 - ⇒ 入荷受付簿に記入するための待機車両の滞留抑制につながる。 ■次ページ参照■
- ②受付状況の照会ができるため、一時的に時間予測が可能。
 - ⇒ メーカー様のドライバーが状況照会しながら、近隣の配送を先行することが可能となる。



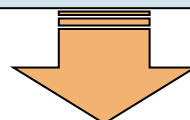
<導入目的:入荷車両誘導のシステム化②>

①入荷車両誘導のシステム化による効果

【写真】:国分グループ本社 相模原流通センター



【入荷受付機】を「入荷窓口・ランプウェイ(トラック各階乗り入れ通路)」より手前に設置



- ・待機スペースを広く設置して、スムーズに待機車両を誘導！
- ・入荷対応までの車両混乱を防止！

<導入目的:入荷車輛のデータ化>

③入荷車輛のデータ化による効果

従来の運用課題

- ①各メーカー様の入荷実績(入荷時刻・ドライバー情報等)は入荷受付簿に記入しており、データ化がなされていなかった。

⇒ そのため拠点での運用効率化・改善データとして活用出来ず。



データ化による効果

- ①入荷実績(入荷時刻・荷降ろし時間・物流企業名)のデータ化の実現。

⇒ 各メーカー様の入荷時間をデータ化することにより、適正な入荷受付時間や課題を共有することが可能となる。また構内作業を含めた運用全体の最適化を実現。

- ②タッチパネル式で操作が簡単。

⇒ 事前登録、もしくは、初回納品時に登録することにより、2回目からの入力が容易となる。



<運用方法:①運用フロー>

入荷受付システム 基本運用イメージ

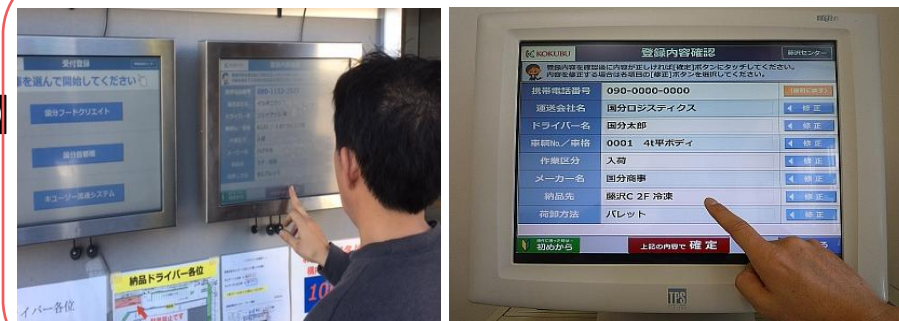
事前登録

・各種項目

車両受付

・車両番号・携帯電話番号

【タッチパネル入力】



登録内容確認

・各項目(変更があれば修正)

車両受付完了

・車両待機(指定場所)

状況照会を行い、
他の配送を先行

入荷ドック接車指示

・登録携帯電話に接車ドック指示

入荷ドック接車

・入荷ドック接車後、入荷受付

入荷受付

・入荷受付表記入は不要

<運用方法:②入荷ドライバー対応>

入荷受付システム 基本運用イメージ

1

KOKUBU 携帯電話番号入力 藤沢センター

携帯電話番号を入力後にリストの中から選んでください。
検索で見つからない場合は最後まで入力後、[追加]ボタンにタッチしてください。

携帯電話番号 **090-0000-0000** 1/1

携帯No: 090-0000-0000
お名前: 国分太郎
会社名: 国分ロジスティクス
車両No: 0001

1 2 3 090- 全クリア
4 5 6 080-
7 8 9 070-
0 1文字削除 050- 追加します

検索結果: 1件

初めから 戻る

入荷ドライバーは物流拠点到着後に入荷受付窓口に行かず
入荷受付システムを使用して**携帯電話番号の入力**を行う。

2

KOKUBU 登録内容確認 藤沢センター

登録内容を確認後に内容が正しければ[確定]ボタンにタッチしてください。
内容を修正する場合は各項目の[修正]ボタンを選択してください。

携帯電話番号	090-0000-0000	(最初に戻る)
運送会社名	国分ロジスティクス	修正
ドライバー名	国分太郎 様	修正
車両No./車格	0001 4t 車	修正
作業区分	入荷	修正
メーカー名	国分商事	修正
納品先	藤沢C 2F - 冷凍	修正
荷卸方法	パレット	修正

初めから 上記の内容で 確定 戻る

携帯電話番号を入力後に、事前に登録された情報(前回登録情報)
が表示されるので**確認後に確定ボタン**を押す。
上記の情報をもとに入荷受付担当者が接車バースを選択し
「電話」、もしくは、「自動音声」で車輛誘導を行う。

3

※受付/照会用携帯サイト
<http://up1.dsas.biz/>
(QRコードからアクセス)

ただ今の
受付状況

	受付	完了	作業中	待機中
入庫	0	0	0	0
出庫	0	0	0	0
合計	0	0	0	11

(携帯電話からの受付/照会)
050-XXXX-XXXX
(自動音声・24時間対応)

入荷ドライバーは、現在の待機車輛数が一目でわかるようにしている
ため待機時間の目安、もしくは、他配送を先行する判断が可能となる。

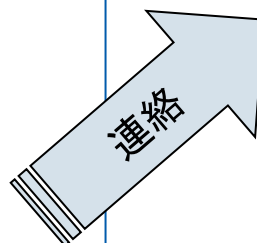
画面イメージ: ■次ページ参照■

<運用方法:③国分 入荷受付担当者対応>

入荷受付システム 基本運用イメージ



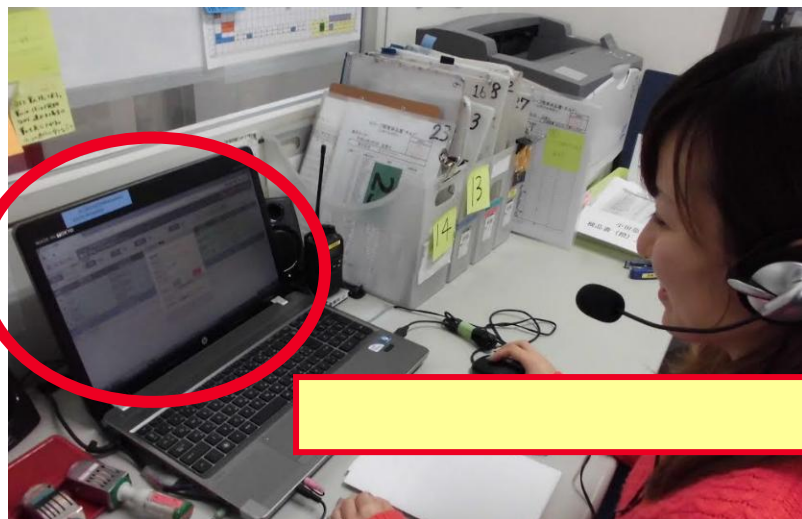
《センター入荷窓口》



《待機車両(入荷ドライバー)》

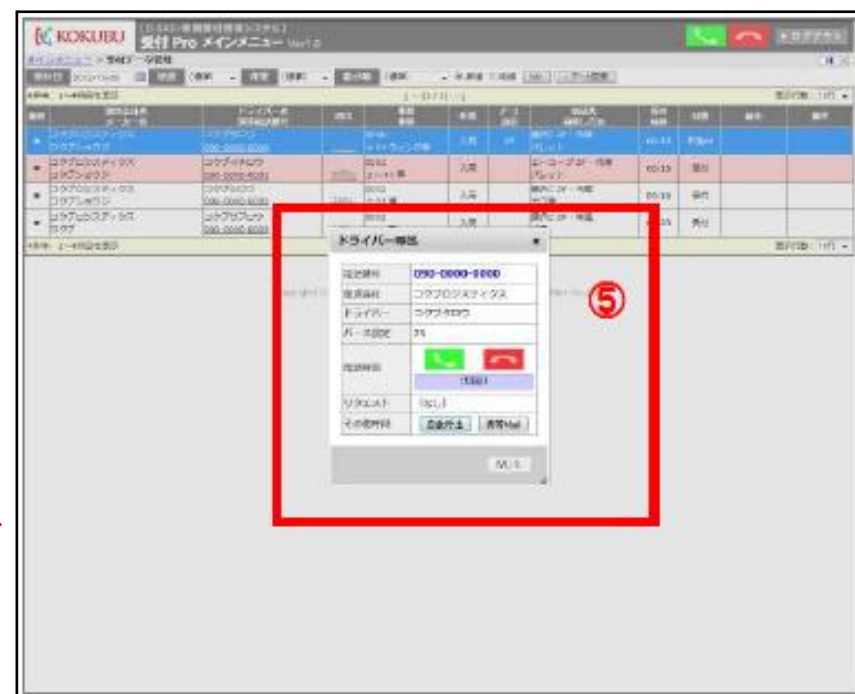
連絡を受け入荷バスへ接車

待機車両(入荷ドライバー)へ入荷バス連絡



《入荷受付担当者》

拡大画面

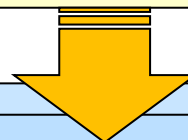


<導入による具体的効果について>

「入荷受付システム」導入改善効果(概算イメージ)

【国分グループ:1拠点あたりの年間効果試算】

- ① 入荷トラック台数 : 平均「約100台」
- ② 入荷受付時間 : 「4分間」⇒『1分間』に短縮(3分間の削減効果)
- ③ 入荷受付稼働日 : 毎週日曜日を除く年間「約312日間」
- ④ 入荷車両待機発生日 : 毎週月・火・金曜日の年間「約156日間」
- ⑤ 入荷車両待機削減時間: 「10分間」
- ⑥ 入荷車両待機発生率 : 「全体の約60%」



● $100\text{台} \times \text{「}(3\text{分} \times 312\text{日}) + (10\text{分} \times 156\text{日} \times 60\%) \text{」} = 3,120\text{時間}$

● 配送車両1台あたりの時間単価を「4,000円」と試算

1拠点あたり $4,000\text{円} \times 3,120\text{時間} \div \text{「約1,250万円」}$ の改善効果見込み

【最後に。。。】

「入荷受付システム」における機能追加も検討し、メーカー様との関係強化を図って参ります。

食品卸売業の国分グループとして、メーカー様・小売業様と共により良い流通環境を目指し、様々なメリットの創出を追求して参ります。

